

かがやき奈良













No. **141**

今年度、最後の「かがやき奈良」です。今回もたくさんのPTA活動を紹介しています。



広報紙キャラクター シカパリくん

Contents

-  奈良県PTA研究大会
-  要望書作成部隊
-  運営学習会
-  近畿ブロック研究大会（滋賀びわこ大会）
-  臨時総会（書面）の結果
-  私たちのPTA（川西町 三宅町 式下中学校組合立）
-  私たちのPTA（磯城郡）
-  常任委員会活動報告
-  「〇〇ありがとう」コンテスト結果
-  三行詩コンクール結果
-  みんなの活動報告
-  幼小中総合補償制度の案内

日本PTA全国
研究大会

奈良大会

令和8年8月開催予定



発行所：奈良県PTA協議会
発行者：奥田 成敏

〒636-0343 奈良県磯城郡田原本町泰庄22-1
奈良県立教育研究所内
TEL/FAX：0744-47-3373



奈良県PTA研究大会

2025年1月25日



大会スローガン

「備える・つながる・支えあう」
～未来の子どもたちへの安心の架け橋～

第68回奈良県PTA研究大会が王寺町文化福祉センターで開催されました。

防災への取り組みは、災害時に必要な知識・スキルを身に付ける事と共に、地域の連携を強化することが重要で、PTA活動はその推進力となることが求められるというコンセプトで、今回の研究会が開催されました。

講演では、株式会社日本防災研修センター 山本一夫様・防災 THE PRESS 中井風花様・村上星奈様に「PTAで考える未来の防災」というテーマで、様々なアイデアをお話し頂きました。

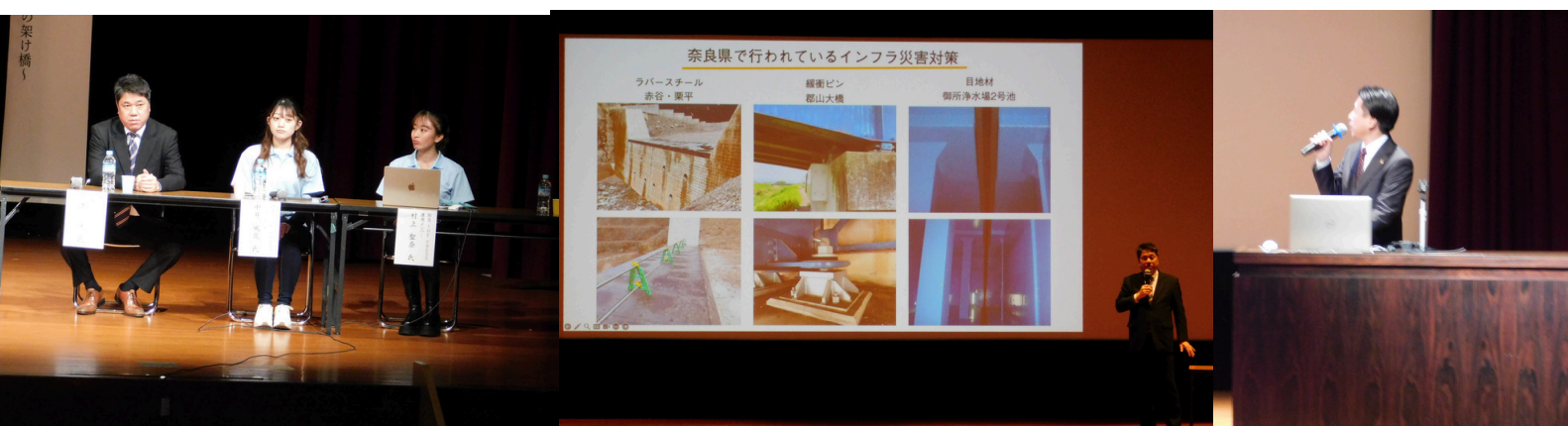
また各委員会からの活動報告がありました。

子育て支援委員会「子どものネット利用に親としてどう関わるか」についての発表があり、日常からの信頼関係・コミュニケーションを大切に、付き合っていく必要性を考えさせられました。

広報委員会からは、WEB配信になり、得意・不得意を配慮し、作業を分担して広報紙を作成しているとの報告がありました。

奈良県PTA協議会からは、教育委員会への要望書の作成や高校説明会・家庭教育研修会開催などの発表がありました。

意義深い発表が多く、盛況な研究大会となりました。



要望書手交

保護者の想いを
届けました。

保護者の皆さまからの意見をまとめた要望書を11月8日に奈良県教育委員会に手交しました。

その要望書をもとに県教育委員会から回答をいただいた後、12月18日に県教育委員会、県中学校校長会、県PTA協議会で意見交流会を行いました。

学校教育の充実、学校環境の整備、部活動の地域移行及び寄宿舎の整備などの昨年度から継続しての要望に加え、特別支援級や不登校などの新たな要望について、さまざまな意見や質問が出ました。県からは、国の基準や県の情勢などを踏まえつつ丁寧な回答をいただき、限られた時間ではありましたが充実した交流会となりました。

皆さまからいただいた要望は多種多様であり、全てを要望書に記載できませんでしたが、日々の気付きを大切にいただき、次年度以降も積極的に意見を挙げていただければと思います。

子どもたちが安心して学校生活を送るためにも、今後も引き続き要望を続けてまいります。



運営学習会

2025年2月5日(水曜日)

『なっでもうたでPTA役員！ どうしたらいいのPTA』 って気持ちありませんか



2月5日に運営学習会を開催しました。

現役員や新役員予定の方々、参加者31名で「PTAとはなにか？」について運営学習会をさせていただきました。スライドを交えた説明や、幼稚園、小学校、中学校とグループに分かれディスカッションをおこないました。

【参加者たちの意見交換や活動の紹介】



- 幼稚園PTA
- ・園の先生方と活動をやりやすくするためにメール等の連絡方法を活用をしている。
 - ・ポスターの作成等をアプリ(キャンバ)を使用しているなどの実践例が紹介されました。



- 小学校PTA
- ・各学校の活動について(制服のリユース・バザー・ベルマーク活動など)
 - ・地域サポート(ボランティア)による交通安全の見守りや、学校ごとの役員選出方法について



- 中学校PTA
- ・複数年の経験者が多く、「PTAはいいなあ」と感じている。しかし、その気持ちをほかの会員さん達に伝えることの難しさについて
 - ・休日の部活動の地域移行について



どのグループも活発に様々な意見が出て、時間があっという間に過ぎていました。

中には早速グループLINEを作ったりなど、お互いに相談できればと今後の活動を考えている様子も見られ気持ちがよかったです。

最初は、「PTAで何をすればいいか全然わかりません」や「どのように活動していけばいいの？」みたいな感じでしたが、現PTAの活動のことや思いを話したり、反対に来年度の新役員になれる方の気持ちを聞いたりして、お互いにPTAについて大切さを理解し、今後もより良い活動につながると参加して感じました。

第50回 日本PTA近畿ブロック研究大会 滋賀びわこ大会

場所：びわ湖大津プリンスホテル
開催日：令和6年11月9日(土)

第50回日本PTA近畿ブロック研究大会が、令和6年11月9日に滋賀県大津市で開催され、奈良県PTA協議会からも多数参加させていただきました。

PTA研究大会って何をするのか、ご存知ない方もおられるかも?...大会によって様々ではありますが、PTA活動を頑張った方々やPTA団体を表彰したり、PTA活動をより良くするための講演を聞いたり、様々な活動で成果を挙げたPTAの方々の発表を聞いたりします。また、様々な地域の方々と交流をし、情報交換・意見交換をする場でもあります。たくさんの学びを得て、自身のPTA活動に活かすために行われています。

びわこ大会は午前の部は分科会を行い、「組織・運営」「生涯学習」「人権学習」「青少年健全育成」「広報活動」「社会に広がる子育ての輪」の6つの分科会があり、奈良県は第3分科会「人権学習」の担当でした。様々な取り組みをされているPTAの方々が近畿各地から集まっており、そのノウハウを聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



午後からは全体会で、記念講演には『声に出して読みたい日本語』の著者であり、メディア出演多数、明治大学教授の齋藤孝さんが来てくださいました。知識豊富、話題豊富な方で、コミカルなお話も交えながら、「こどもの未来のためにできること」という演題を、とても分かりやすく楽しくお話ししてくださいました。

初めて琵琶湖を見ましたが、百聞は一見にしかず。テレビで観るのと実際に訪れるのでは全く違い、実際に訪れることの大切さを感じました。このように行くはずのない場所に行けて、会うはずのない方々に会うことができる。これこそPTA活動の魅力の1つだと思います。最後になりましたが、お忙しい中ご参加くださった皆様、誠にありがとうございました。



臨時総会(書面)の結果

賛成多数で可決されました

奈良県PTA協議会理事・代議員総数283名

賛成281 反対2 (返信数 賛成174 返信なし107 反対2)

令和6年度臨時総会について、書面決議にご協力いただきました理事、代議員(各单位PTA会長・代表者)の皆さまありがとうございました。

これにより令和7年度からは常任委員会を廃止し、理事会は郡市P代表理事各3名、村P代表理事各1名、県P推薦幹事若干名(対象者がいる場合)の体制で活動してまいります。常任委員会での取り組み事業は県P本体事業として引継ぎ、理事会で協議しながら取り組んでまいります。理事会は「議案の審議・伝達する場」とするだけでなく「各郡市村P間の交流の場」「本会事業の協議や議論する場」とし、理事会メンバーを通して各郡市村PTAや単位PTAとの「つながり」をより意識した活動を共にすすめていきます。

◆常任委員会廃止及び理事人数増について (補足)

これまで各郡市Pから2名、各村Pから1名の常任委員を選出し、常任委員会の活動(事業)をすすめてきました。

令和7年度からは、少子化によりPTA組織が縮小傾向にある現状を鑑み、各郡市村Pの負担を軽減するとともに事業のスリム化を図るため、常任委員会を廃止することとします。

またそれに伴い、県や事業の中核を担う代表理事について、郡市P代表理事の人数を各郡市2名から3名に増員し、より幅広く密度の高い会議・事業の展開と実現を目指します。(但し、各村Pについては、郡市Pに比べ所属校園数や会員数が非常に少なく負担増につながるおそれがあることから、村P代表理事の数は現状の1名とします。)

これまでの常任委員会の取組内容は「県P事業」として扱い、各郡市村Pからの意見を理事会で集約し、全体で取り組んでいくこととします。さらに、理事会を「審議・伝達する場」としてだけでなく、「各郡市村P間の交流の場」、「本会の事業(広報紙作成の取組、要望書の内容等)の協議・議論をする場」とし、理事会のメンバーを通して、各郡市村PTAや単位PTAとの繋がり、関係性の推進に取り組んでいきます。

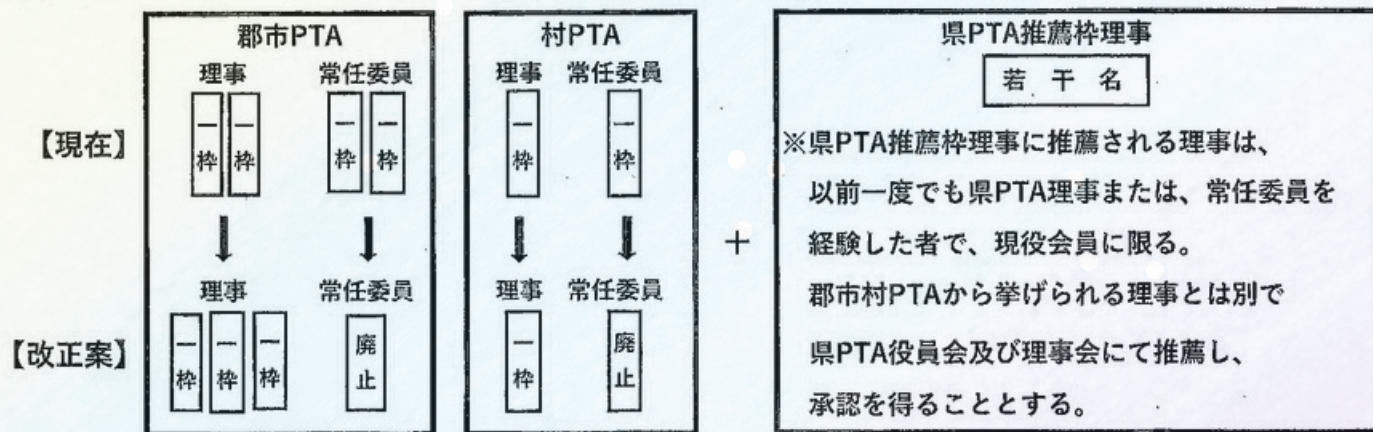
これまで各郡市Pからは常任委員・理事あわせて4名、各村Pからは常任委員・理事あわせて2名の選出でありましたが、今後は各郡市P理事3名、各村P代表理事1名のみとなるため、各郡市村P1名の負担軽減につながります。

◆県PTA推薦幹事の新設について (補足)

本人に意欲があり、引き続き理事の任を希望されているにもかかわらず、各郡市村Pの事情(輪番等)により再任が難しく、理事として活動することを諦めざるを得ない方がいることから、県PTA推薦幹事を新設することとしました。

県Pから推薦する理事については、以前に一度でも県P理事または常任委員を経験した者で現役の会員に限ります。但し、郡市村Pからの選出理事とは別幹とし、理事会及び総会での承認を必要とします。

今回の規約改正に伴う理事・常任委員数のイメージ図





2024年12月18日 (土)

式下中学校PTAでは、『夢・希望・笑顔でみんながつながるPTCA』を目指しています。

その中の一つの事業にS-S交流祭があります。どの事業にも言えることですが、参加者が減少している中で「やる意味はあるのか?!」という意見が出る場合があります。その都度、「昨年実施したから」ではなく「今年はどうしたいのか」「何を伝えたいのか」を話し合ってきました。

その結果、今年度は2018年度に実施した「絵の本ひろば」を今の子どもたちに経験してほしいこと、また昨年度の防災の取り組みをさらに発展させたいことから、S-S交流祭を実施することになりました。

やはり参加者は少なかったのですが、広報紙『瑞雲』で特集し、活動について会員の皆様にご協力いただき努力を続けています。PTAに対する否定的な情報を目や耳にすることもありますが、実際に参加された方からは『普段なかなか関われない人と交流できました』『子どもたちの意外な一面を見られて良かった』『勉強になった』などの感想をいただいています。

子どもたちを中心に、保護者・学校・地域がつながり、支え合える場として、より多くの方に参加していただけるよう工夫を重ねながら、魅力的な活動をしていきたいです。

2024.8.30

この夏はS-S交流祭へ行こう!



目的

夏のS-S交流祭、ザックリいうなら『きれいにする』『楽しむ』でした。硬くいうと「学習環境整備に協力する」「本会活動テーマ『交流』を推し進める」となります。



クリーン作戦

2学期を気持ちよく迎えるための清掃活動を、2学期直前に行いました。参加者はPTA会員と有志生徒たちです。

参加者同士の交流だけでなく、課題点なども見えた清掃活動。暑い中でしたが、教室・トイレなどの屋内や、グラウンドなどの屋外がキレイになりました。



絵の本ひろば

講師の加藤啓子さんと、生徒も保護者も先生も手伝いに来てくださった地域の方も、みんなが混ざり合って、わいわい楽しめた絵の本ひろば。一緒に読んでいる相手の意外な一面を発見したり、みんなと一冊の本で、遊んで笑って考えたステキな『交流』の時間になりました。

2024.12.18

参加型防災イベント 避難所運営ゲームHUG



目的

助かった後の事を考える防災体験をする（昨年度の活動を引き継いでいます）いつもの門松づくりでも『交流』を深める

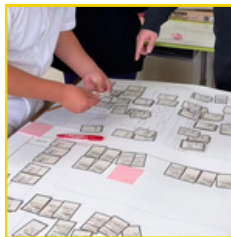


避難所運営ゲームHUG

人権研修でHUGを体験した役員から「子どもたちにも経験してほしい!!」という熱い想いがあり、実施することになりました。

『中学生には難しいのでは』という意見もありましたが、どのグループも大人のアドバイスをもとに「どうしたらいいのか」を真剣に考え、活発な議論がされていました。

避難所運営ゲームを通じて、世の中には多様な考えを持つ人がいることを知り、お互いを尊重し合うことの大切さも感じてもらえた時間となりました。



門松づくり

地域の方からも大好評！式下中学校の正門に飾る、大きな門松をつくりました。

大きい分、安定させるための土を運ぶ力仕事が多いのですが、有志生徒がとっても頑張ってくれました。

最初の数年は門松づくりにご指導いただきましたが、今では引継ぎの写真を見て作り上げています。

生徒のセンスが光っているでしょ♪



年に2回のS-S交流祭

私たちの



2024.12.3

磯城郡PTA



絵の本ひろば

磯城郡PTA協議会ではコロナ禍で止まっていた研修会を久しぶりに開催しました。

役員会では、どの活動にもつながりますが、前年度しなかったから今年度もしなくていいではなく、「今年はどうするか」を考えようと話をしました。その中で、絵の本ひろばを体験した役員さんから「やってみたい」「みんなに伝えたい」という意見があり、動き出した研修会。

当日、講師の“絵本あれこれ研究家”加藤啓子さんが最終チェックをする中、開始時間まではおしゃべりしたり、気になった本を手にとったり、ゆったりした時間が過ぎていました。

研修会は実際に絵の本ひろばを体験する参加型。疑問、質問、相談にもものってもらいながら、みなさんドンドン前のめりになっていくのが印象的でした。みんなでわいわい一冊の本を読む（見る）ことで、「本」を読む事と「絵の本」を読む事は、似ている様で違うんだなと体感した時間でもありました。

絵の本ひろばは

読み聞かせや読書とはちがう。
学校の図書室や、
地域の図書館ともやっぱりなんか違う。
宿題のような音読でもないし、
勉強を連想させるような感じもしない。

ひろばに来る人は

読み聞かせを頑張ってる人、
挫折しちゃった人、
本がキレイな人や好きな人、みんないろいろ。

でも最後には

へえ 本ってこうやって読んでもいいんだ
あっ 本っておもしろいかも
絵本ってそんなに考えて作られてるんだ
ふむふむ…『間』を考えて読むんだね
頑張らなくてもいいのか… など
いろんな気づきや学びがありました。



開始前の様子



絵の本の奥深さ



常任委員会活動報告



【子育て支援委員会】

子育て委員会では、「子どものネットリテラシー」をテーマに、それぞれの考えや体験談を元に話し合いをしました。

子どもにスマホを持たせている・持たせていない、その理由や思いなど、様々な意見がありました。その中で気付いたことは「これって全て親目線で考えた親のエゴなのではないか？」ということでした。私たちが育ってきた環境と、今の環境はまるで違う。子どもには子どものいる世界があり、子どもの考えがあるのではないか。そこから話は進み、結論として「子どもとの日常的なコミュニケーションが大切」だということを感じました。親として心配するのは当然だけど、子どもの話を聞き、必要なときにすぐに手を差し伸べられる関係性であれば、子どもを安心して新たな世界に送り出せるように感じました。

もちろん、この話題に答えは存在しないでしょうし、これからも親として色々なことに悩み考え続けるでしょう。しかし、子どもたちの健やかな成長のためにできることを、私たちは考えていきたいと思いました。



【広報委員会】

今号を含め、今年度はWEB広報紙『かがやき奈良』を3回発行することができました。取材にご協力いただいたみなさま、広報委員の皆さん本当にありがとうございました。

今年度の広報委員さんは『初めてPTA役員』になり、『広報』に関わる事も『初めて』の方が多くいらっしゃいました。その中で誰もが参加しやすい仕組みを作るために、毎号1回は集まる委員会を開催しました。PTAの数だけPTAの在り方も違うので、広報以外の「PTA」の話が聞けたのはとても有意義でした。

もちろん、集まらなくてもできることは個別に作業をし、ドンドンWEB上で共有して作り上げました。

以上の事を奈良県PTA研究大会で発表（報告）いたしました。

今後も県Pの活動を中心に、いろんな地域のPTAを広報していきます！

みなさまには、県Pからの情報をキャッチしていただくと嬉しいです。



奈良県PTA協議会

令和6年度 絵とことばでありがとうを 伝えよう「〇〇ありがとう」コンテスト 審査結果発表!!

奈良県PTA協議会では、これまで作文コンテストを開催してまいりましたが、今年度から装い新たに、一人でも多くの方が、身のまわりの「ありがとう」の気持ちに立ち止まる機会としていただきたく“絵とことばでありがとうを伝えよう「〇〇ありがとう」コンテスト”を実施いたしました。

作品の題材は多岐にわたり、あらゆる視点で描かれた476点もの作品が県内各校より寄せられました。

ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。

厳正な審査の結果、最優秀賞および優秀賞が下記の通り決定いたしました。令和7年1月25日に開催させていただいた奈良県PTA研究大会の席上で、ご来賓ならびに会場の皆様の前で表彰されました。

受賞された皆様、おめでとうございます。

来年も実施予定ですので、みなさんどしどしご応募ください。

低学年の部

最優秀賞	赤阪咲優花さん	広陵町立広陵西小学校	1年生
優秀賞	田村淳翔さん	広陵町立広陵西小学校	1年生
優秀賞	武田徠良さん	五條市立牧野小学校	2年生
優秀賞	古田紗菜さん	橿原市立耳成西小学校	2年生
優秀賞	川崎和さん	広陵町立広陵西小学校	3年生

高学年の部

最優秀賞	上村貴乎さん	葛城市立磐城小学校	5年生
優秀賞	佐々木花撫さん	葛城市立磐城小学校	4年生
優秀賞	中島杏菜さん	橿原市立耳成西小学校	6年生

中学校の部

最優秀賞	更家由季さん	王寺南義務教育学校	8年生
優秀賞	小田凜さん	王寺南義務教育学校	7年生
優秀賞	清水初音さん	王寺南義務教育学校	8年生



「〇〇ありがとう」コンテスト 入賞作品

◎小学校低学年の部

最優秀 広陵西小 1年

赤阪咲優花さん

「うまれてきてくれて
ありがとう」



優秀 広陵西小 1年

田村淳翔さん

「うまれてきてありがとう」



優秀 牧野小 2年

武田徠良さん

「そのえがおわすれないよ
ひいばあちゃんありがとう」



優秀 耳成西小 2年

古田紗菜さん

「おかあさん いつもおしごと
してくれてありがとう」

「〇〇ありがとう」コンテスト 入賞作品

◎小学校低学年の部

優秀 広陵西小 3年
川崎和さん

「お母さんいつもありがとう」



◎小学校高学年の部



最優秀 磐城小 5年
上村貴乎さん
「友達ありがとう」

優秀 磐城小 4年
佐々木花撫さん
「い動の時に連れていって
くれてありがとう」



優秀 耳成西小 6年
中島杏菜さん
「一日一日にありがとう」

◎中学校の部

最優秀

王寺南義務教育学校

8年

更家由季さん

「給食ありがとう」



優秀

王寺南義務教育学校 7年

小田凜さん

「描く事ありがとう」

優秀

王寺南義務教育学校 8年

清水初音さん

「先輩ありがとう」



たくさんのご応募ありがとうございました！

令和6年度
「楽しい子育て全国キャンペーン」

三行詩コンクール

～ 家族で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

県内審査結果発表

ご応募いただいた三行詩を、奈良県PTA協議会で
選考させていただき、11作品を本県の優秀作品
として(公益社団法人)日本PTA全国協議会へ
推薦させていただきました。

残念ながら全国での選出には至りませんでした
が、令和7年1月25日(土)、王寺町文化福祉センターで開催
された奈良県PTA研究大会において
本コンクールの表彰式を実施させていただき、
ご来賓ならびに会場の皆様の前で受賞されました。

次年度も多数のご応募をお待ちしております。

小学校の部(5点)

母はいつも言う。

「たとえどろぼうがきても、
いままでの努力はぬすまれない」と。
ぼくは絶対にわすれない。」と。

王寺町立王寺北義務教育学校
6年生 岡野 幹太 さん

「おはよう」「ただいま」「おやすみなさい」
あいさつは毎日とどけるプレゼント
今日もありがとう 「いってきます」

王寺町立王寺北義務教育学校
3年生 田中 希実 さん

いわなきやいけないことが
あるのなら

今いわないと 命は有限

王寺町立王寺北義務教育学校
6年生 栗嶋明日香 さん

行ってきます！と ハイタッチ
今日も1日がんばるぞ

王寺町立王寺北義務教育学校
3年生 橋本 仁 さん

みんなが元気ならわたしも元気

檀原市立畝傍東小学校
2年生 村嶋 咲奈 さん

中学校の部(5点)

「お腹すいた」

親がいるから つぶやける

大和高田市立高田中学校
2年生 和田 日向さん

ありがとう

素直に言えない 中学生

王寺町立王寺北義務教育学校
9年生 井上 歩美さん

はやくねろ

やいやいというのは 親の愛

大和高田市立片塩中学校
3年生 塩谷健太郎さん

反抗期。 つめたい態度をとる私、

それでも家族はあたたかい。

王寺町立王寺北義務教育学校
7年生 前田 紗矢香さん

家族でも 言わなきや何も

分からない

だってお互い 人間だもの

王寺町立王寺北義務教育学校
9年生 清水 香綸さん

一般の部(1点)

大丈夫 そう言われても 見守るよ

川西町立川西小学校PTA
南谷 紀美子さん

みんなの活動報告

いつもの活動・独自の取り組み

- 学校の広報誌作成と、市内の中小幼の広報誌の作成。
葛城市 T
- 冬のS-S交流祭、次年度の役員選出会などPTA主催の事業を実施しました、また郡P研修会、県P研究大会にも参加しています。
磯城郡 Y
- 学校の広報誌を作成しました。
子どもたちの様子を沢山撮影しました。
明日香村 T
- 次年度の学校役員選出と引継ぎ会に出席しました。
下校パトロールや旗当番などの活動にも参加しました。
生駒市 B
- 奈良県PTA研究大会参加
三郷町 O

PTAと地域

- 通学路の点検、危険箇所について、地域のみなさまと話し合いをさせていただきました。
宇陀市 Y
- 運営協議会に参加、学校と地域のコミュニティを深めるべく地域の方も含めて今後の活動を話し合いました。
磯城郡 T



郡市村PTA協議会の活動

- 本年度最後の単Pの運営会を開催いたしました。
やり残した話し合いとかないかと心配になりながら終了しました。

香芝市 B

- 単Pの次年度役員決めのかじ引きに立ち合い、代理の子ども達が盛り上がりおもしろかったです😊

北葛城郡 K

- 市PTAで広報委員会を開催し、単P広報部の方々の困りごとの相談や柔軟な広報活動をするための情報共有をしました。

天理市 T

- PTA教育講演会に5・6年生と一緒に参加しました。

山添村 H

- 編集担当の各幼少中の広報部が集まり、市の広報紙の編集作業を行ないました。

桜井市 T

編集後記

今年度最後のかがやき奈良ができました。ドキドキしながら参加した1回目の広報委員会から、あっという間の1年でした。

文章を考えたり、レイアウトを考えたり、自分のできること、得意なことにわかれてみんなで協力してつくりあげました。

楽しんで読んでいただけると嬉しいです。

1年間、ありがとうございました！

広報委員一同



ハッと! せんせいとまなぶ

どろろのあぶないを みつけよう!



まけんをおしえてくれる
ハッと! せんせい

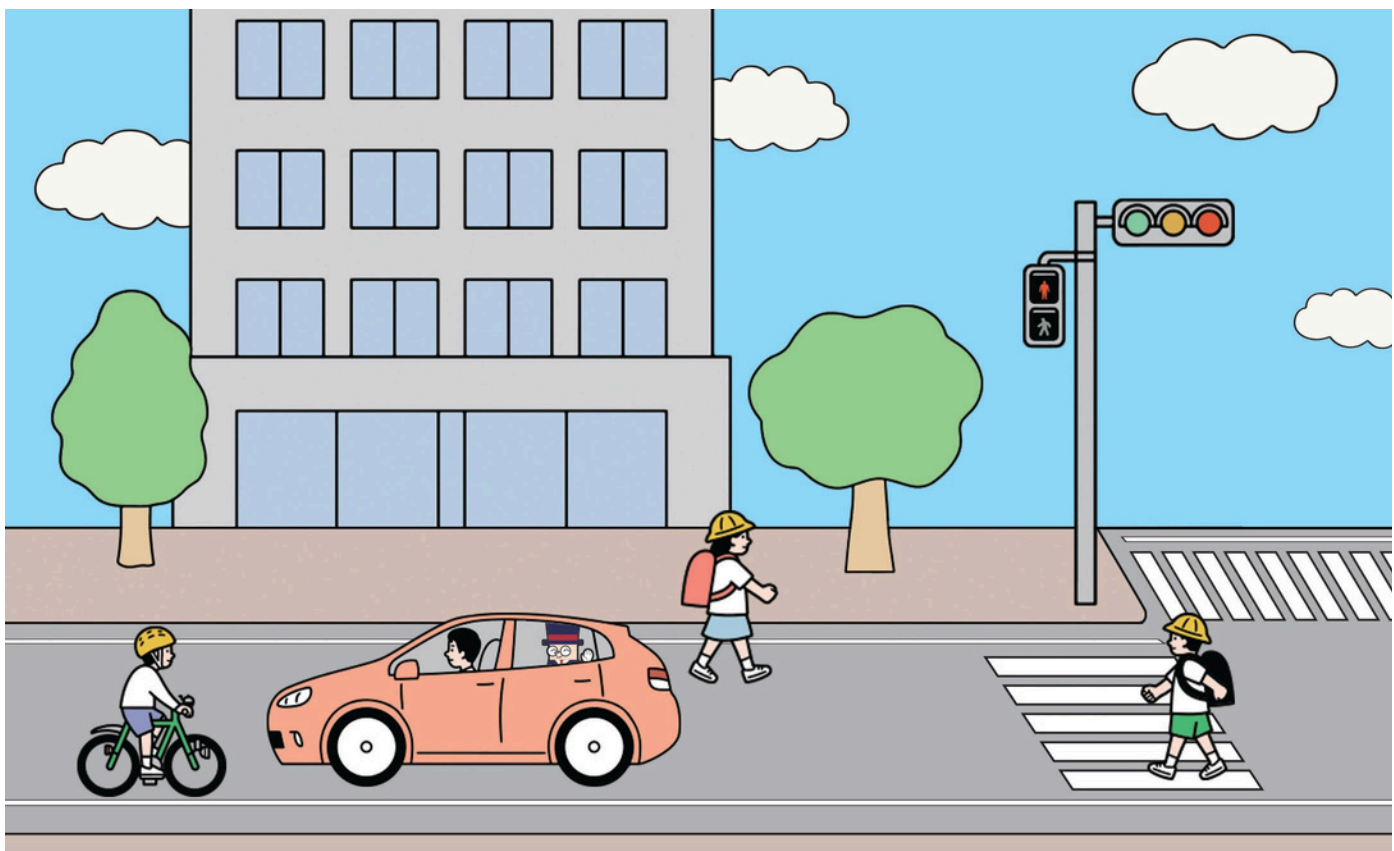


がっこうにとうこうするときや、ほうかごあそんでいるとき、
どろろにはまけんがいっぱいあるよ。
どんなまけんがあるか、せんせいやおともだち、
おうちのひととみつけてみよう!



あぶない! をみつけて をつけてみよう!

なまえを
かいてね!



ひんと! /

ぜんぶで **3** あぶないがあるよ!

ハッと! せんせいも、どこかにかくれてるよ! さがしてみてね!



おうちのひととこたえあわせをしてね!

こたえは つぎ にあるよ!

小学校ご入学おめでとうございます

大切なお子さまを交通事故から守るためには、親子間での日常的なコミュニケーションが大切です。奈良県PTA協議会では、交通安全防止活動の一つとして交通事故多発エリアや交通事故が発生しそうな地点を投稿・閲覧することのできる「あんぜん my マップ」をご紹介します。ぜひ親子間で通学路の危険エリアの確認にご活用ください。

奈良県PTA協議会 会長 奥田 成敏

どなたでも
ご利用
いただけます

交通事故多発エリアなどを投稿・閲覧できる
オンライン地図サービス

あんぜん my マップ

お子さまと一緒にご自宅周辺や
これから通う通学路のエリアを
チェックしてみてください。

すぐに
利用
できます



事故種別	件数
人身被害	1
自転車	2
人対自転車	2
合計	5
中心値	0
最大値	0

交通事故や、学校生活の「もしも」のために! /

お子さまのための総合保障制度のご案内

登下校中のケガに加えて、学校がお休みの日や放課後のケガなど新生活の「もしも」の備えとしてご加入をおすすめします。

たとえば



歩行中の交通事故で
骨折して手術・入院

たとえば



放課後、塾に行く途中に自転車で
歩行中の相手にケガをさせてしまった

オンラインで

簡単お申込み!

申込期限

2025年4月19日まで

申込サイトはこちら▶



答えは
こちら

どうしてあぶないも みつけれなかったかな?

答え①

信号は守ろう。道路をわたる前に、止まって左右の安全をたしかめてわたしましょう。

答え②

歩道のない道路に引かれた白い線は歩行者のための路側帯です。路側帯の内がわを歩きましょう。

答え③

自転車は車の仲間だから、車と同じ左がわ通行。車道では左はしを走りましょう。

●この制度の詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。※当制度のお問い合わせは下記取扱代理店・扱者までご連絡をお願いいたします。

【取扱代理店・扱者】

株式会社 スマート・アイ

TEL 0120-366-415

【引受保険会社】

AIG損害保険株式会社

奈良支店

TEL 0742-35-3150